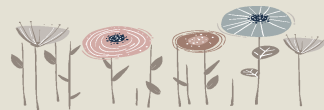


公開講座



# 「死にたい」に どう対応するか

## —自殺のリスクアセスメントと危機介入—

講師 特定非営利活動法人OVA (オーヴァ)  
代表 伊藤 次郎 氏

令和5年

1月19日(木)

16:20~17:50

入場無料 要申込

【開催方法】

対面又は遠隔 (Zoom)

※学内者(学生・教職員)は、対面又は遠隔(選択可)

会場：山口県立大学 2号館 B401教室  
(先着200名)

※学外者の方は、遠隔(Zoom)で  
ご参加いただけます。



【申込方法】以下のURLまたはQRコードの  
申込みフォームからお申込みください。

URL: <https://forms.office.com/r/vpY8AKC1yK>

【申込期間】令和5年1月13日(金)17時まで



申込み・お問い合わせ先  
山口県立大学学生支援部門  
Tel: 083-929-6507  
(平日9時~17時)



## 公開講座（自死予防のためのゲートキーパー養成事業）のご案内

日本の自殺者数は、1998年に3万人を超え、その後3万人台で推移していましたが、さまざまな広報活動や自殺予防の取り組みがなされる中、2009年から減少に転じ、2019年(令和元年)には20,169人にまで下がりました。しかし、2020年から始まったコロナ感染症のパンデミックによる社会不安や経済活動への影響により、再び増加傾向にあります。

私たちの身近にいるかもしれない「死にたい」思いを抱える人々に、私たちは何ができるでしょうか。山口県立大学は、自殺予防の最前線で活躍されているゲストを迎え、公開講座を企画しました。

「ゲートキーパー」とは、自殺の門をくぐろうとしている人たちに気づき、声をかけ、必要な支援につなぐことを知っている人を意味します。

さあ、あなたもゲートキーパーになりませんか。

### 伊藤次郎 氏のプロフィール

NPO法人OVA(オーヴァ)代表理事、ポスト申請主義を考える会事務局長  
ソーシャルワーカー(精神保健福祉士)

学習院大学法学科卒業

- ・メンタルヘルス対策を企業等に提供する人事コンサルティング会社(EAPプロバイダー)を経て、精神科クリニックにて勤務。  
主にうつ病で休職しているビジネスパーソンの復職支援を行うなど、働く人のメンタルヘルス対策に従事。
- ・2013年6月末に日本の若者の自殺が深刻な状況にあることに問題意識が芽生え、マーケティングの手法で自殺ハイリスクの若者へリーチしようと「夜回り2.0(インターネット・ゲートキーパー活動)」の手法を開発・実施し、NPO法人OVAを設立(2014年)。



### 申込み・お問い合わせ先

【日時】 令和5年 1月 19日 (木) 16:20~17:50

【参加方法】 対面又は遠隔 (Zoom)

※学内者(学生・教職員)は、対面又は遠隔(選択可)

会場：山口県立大学 2号館 B401教室 (先着 200名)

※学外者の方は、遠隔(Zoom)でご参加いただけます。

参加無料・要事前申込

【申込期間】 1月13日(金) 17時まで

【申込方法】 以下のURLまたはQRコードの申込フォームからお申し込みください。  
Zoomでご参加の方へは、後日招待情報をお送りします。  
URL: <https://forms.office.com/r/vpY8AKC1yK>



【お問い合わせ先】 山口県立大学 学生支援部門  
電話 083-929-6507  
受付時間 9:00~17:00 (平日)